

中学校の交流学習（厚陽中学校・厚狭中学校）

厚陽中学校の1・2年生が厚狭中学校に行き、新体力テストを一緒に実施しました。厚陽中の1年生は厚狭中1年生の学級に入り、厚陽中の2年生は一つの学級として、反復横跳びやハンドボール投げなど6種目に取り組みました。測定の順番を待つ間、両校の生徒同士で話をしたり、協力して測定の手伝いをしたりしました。思わず「わあ、すごい」という声も聞かれ、互いに刺激を受けたようでした。規模の異なる学校の交流は珍しく、今後もそれぞれのよさを生かした交流学習が展開されることを期待します。



6年生が大人と協議（出合小学校）

出合小学校では、日曜参観日に合わせて地域教育協議会が開催されました。6年生が6グループに分かれて参加し、地域の方と教職員によりよい学校にするためにできることというテーマで自分たちが考えたアイデアを熱心に説明する姿は堂々としていて、頼もしささえ感じられました。地域の方も、子どもたちの思いをしっかり受け止めて意見を述べるとともに、子どもたちの真剣さに感心しておられました。アドバイスをもらったので考え直したいと感想を伝えた子どもたちの今後の行動が楽しみです。



ハーブねっと農園で田植え（埴生中学校）

埴生小中学校では、起業体験学習の一つとしてもち米の栽培に取り組んでいます。今年度は、小学5年生から中学3年生までの児童生徒がハーブねっと農園で地域やJAの方から指導を受け、田植えをしました。中学1年生は4度目の体験なので、足を取られながらも苗と苗の間隔を適当に開けて手際よく植え付けていました。同時に、泥と水の感覚も楽しんでいました。今後は、除草体験も新たに取り入れ、稲刈りや地域交流センターの文化祭での販売などの活動が予定されています。

